

■古今亭志ん生(5代) 落語家。酒と貧乏を友としながら独自の芸風を築き上げ、〈敗戦〉直後から、長期間絶大な人気。

ここんていしんしょう  
帝国議会始・1890＝

東京神田で、士族の警視庁巡査美濃部成行の五男に生まれる。母は志う。

浅草を経て、  
下谷に転居し、

日清戦争始・1894＝4歳：

八幡製鉄始・1897＝7歳：下谷尋常小学校に入学。  
子規句歌革新1898＝8歳：祖母が死去。

Bushidou・・1899＝9歳：

子規句歌革新1898＝10歳：中退し、  
田中正造直訴1901＝11歳：この頃から、奉公先を転々とする。

日比谷公園・1903＝13歳：養祖父が死去。

日露戦争始・1904＝14歳：浅草に転居。

日露戦争終・1905＝15歳：\_勘当され、家出。以後、帰宅せず、無頼の生活を送るうち、落語家を志すようになり、

韓国反日暴動1907＝17歳：\_この頃、端席回りの三遊亭円盛につき、盛朝の名で天狗連(セミプロ集団)に加わる。

アヲヲ 創刊・1908＝18歳：\_この頃、橋家円喬の門に入ったという。

韓国併合・・1910＝20歳：\_2代三遊亭小円朝門下円盛の弟子となり、朝太と名乗る。

大逆事件判決1911＝21歳：母が死去。

明治天皇没・1912＝22歳：\_三遊派の月給制失敗の責任をとった師に従い、しばらく地方まわりの苦勞を重ね、

第一次大戦始1914＝24歳：父が死去。

民本主義・・1916＝26歳：\_この頃、三遊亭円菊と改名して、二つ目。

ロシア革命・1917＝27歳：

本格政党内閣1918＝28歳：\_6代金原亭馬生門に転じ、金原亭馬太郎と改名。

ベルリン条約・1919＝29歳：吉原朝馬と改名、

大暴落・・・1920＝30歳：下谷に下宿。全亭武生と改名、

原敬首相暗殺1921＝31歳：\_金原亭馬さんと改名し、真打ち。

水平社結成・1922＝32歳：清水りんと結婚。

関東大震災・1923＝33歳：滝野川に転居。古今亭志ん馬と改名し、

護憲三派圧勝1924＝34歳：長女の誕生後、\_3代小金井芦洲門で講釈に転じ芦風となる。

治安維持法・1925＝35歳：次女が誕生。

円本時代始・1926＝36歳：笹塚に転居。\_古今亭馬生と改名し、落語界に復帰。ざん馬と改名。初代柳家三語楼門に移り、柳家東三楼となり、

金融恐慌・・1927＝37歳：幡ヶ谷に転居。方南に転居。柳家甚語楼と改名。

共産党事件・1928＝38歳：長男清が誕生。本所のなめくじ長屋に転居。

海軍縮小条約1930＝40歳：一時隅田川馬石を名乗り、再度甚語楼、

満州事変・・1931＝41歳：

五一五事件・1932＝42歳：\_志ん馬を名のるなど、芸名数17。借金を逃れるための改名ともいわれるが、赤貧のなかで、4代橋家円喬系の本格派話芸に三語楼系の明るい話口を加え、天衣無縫のなかに人情の機微を穿つ独自の芸風を築き、

帝人疑獄事件1934＝44歳：\_\*7代金原亭馬生を襲名した頃から売れ出し、

芥川直木賞始1935＝45歳：

二二六事件・1936＝46歳：浅草に転居。

日中戦争始・1937＝47歳：本駒込に転居。

健保+総動員1938＝48歳：次男が誕生。

第二次大戦始1939＝49歳：\_\*5代志ん生を襲名。

日米開戦・・1941＝51歳：\_神田花月で毎月独演会、

創価学会検挙1943＝53歳：この年、長男清(むかし家今松)が入門。

年金+総武装1944＝54歳：

敗戦・・・1945＝55歳：織細で千駄木に転居。\_慰問興行中の満洲(現中国東北部)で終戦をむかえるが、帰国できず、

新憲法施行・1947＝57歳：\_ようやく、帰国。

三大事件・・1949＝59歳：この年、長男清が金原亭馬生を襲名し真打となる。

朝鮮戦争始・1950＝60歳：

独立回復・・1951＝61歳：西日暮里に転居。

TV放送始・・1953＝63歳：この年、長男清が結婚。\_ラジオ東京の専属となる。

自衛隊発足・1954＝64歳：\_\*ニッポン放送の専属となる。十八番の「火炎太鼓」「お直し」などのほか、人情斬・落し斬の広いレパートリーで絶大な人気を博し、

国連加盟・・1956＝66歳：自伝「なめくじ艦隊」を出版。\_「お直し」で芸術祭賞。

なべ底不況・1957＝67歳：この年、次男が入門。\_落語協会会長。

美智子妃・・1959＝69歳：この年、次男が二つ目。

安保闘争・・1960＝70歳：

たいたい病始・1961＝71歳：\_巨人軍優勝祝賀会の高座で、脳出血で倒れ入院。

全国総合計画1962＝72歳：この年、次男が古今亭志ん朝を襲名し、真打。\_退院し、復帰。

TV宇宙中継始1963＝73歳：\_落語協会会長を辞任。

東京リビウ 1964＝74歳：自伝「びんぼう自慢」を出版。\_紫綬褒章。

美濃部都知事1967＝77歳：妻が脳出血で倒れ、以後、病臥。勲四等瑞宝章。

霞ヶ関ビル・1968＝78歳：\_\*上野(鈴木)の初席に出演、以後、寄席には出席せず。精選落語会に出演、最後の高座となる。

全共闘ビーク・1969＝79歳：この年、次男が結婚。

大阪万博・・1970＝80歳：コロムビアより、LP10枚組「古今亭志ん生集」が刊行される。

ドルショック・・1971＝81歳：妻の死去に続いて、

石油ショック1973＝83歳：\_没した。

{KAWADEムック}、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、